

会 議 要 旨

会 議 名	平成30年度 第1回館山市社会教育委員会議
開 催 日	平成30年7月6日(金) 午前10時00分から
開催場所	館山市コミュニティセンター2階 第2学習室
出 席 者	社会教育委員9名、教育長、事務局7名
公開・非公開の別	公開
非公開の場合の理由	
傍 聴 者	0 名

【会議概要・結果等】

1. 開会

2. 教育長あいさつ

数日前にいじめ問題対策連絡協議会を行った。市内小中学校長、館山警察署、法務局人権担当、PTA代表が参加し、各学校での状況報告や参考になるものがあるか協議した。

話を聞いていると、原因で「目に見えるもの」は指導できるが、「目に見えないもの」の指導に大変苦勞をしている事例が出た。例えば携帯電話やスマートフォンを利用したLINE、メールのやり取りは学校の表面に表れてこない。県民生活課からはLINEの返信次第で人間関係が形成されたり、裸や未成年飲酒の写真が流出し恐喝されたりする話もあった。

学校では、親に対しても子に対しても危険性について強く説明しているが、厳しい状況がある。事例が発すれば対処療法的に発信できるが、最終的には一人一人の考えによるところが大きい。そこには家庭教育が大きく関わってくる。様々なやりがいのある活動に参加することで人としての視野が広がり善悪の判断ができるようになる。

社会教育がより充実したものになるよう意見を頂ければと思う。

3. 委嘱状交付

出席の社会教育委員9名に委嘱状交付

4. 議事

(1) 平成30年度生涯学習に係る基本方針と重点施策について

生涯学習課、博物館、図書館、中央公民館、スポーツ課より平成30年度基本方針等を説明。

その後、質疑、意見交換

(2) その他

4. その他

5. 閉会

【質疑応答・意見等】(◎⇒委員質問、意見 ○⇒教育長回答、意見 ●⇒事務局回答)

◎ 生涯学習課の赤山地下壕入場者数の30万人というのは間違えない数字か。年間だとどのくらいか。

● 見込みとしては10月ごろに入壕開始からの累計が30万人になる。手元に資料はないが年間3万8千人くらいである。

◎ 豊津ホールが受付をしているのか。入壕者数が多く、大変ではないか。

● 豊津ホールが赤山地下壕の受付をしている。現在は豊津ホールの管理と赤山地下壕の受付をシルバー人材センターに委託している。

◎ スポーツ課の言っていた「交流人口の拡大、地域経済の活性化」を実感するが、例えば10年前と

の比較など、具体的な数値を知りたい。

- 手に資料はないが、観光客の呼び込み客数については、スポーツ課で統計をとり、公表している。近年スポーツ観光という切り口で集計をするようになったため、10年前はとっていない。徐々に客数・宿泊者数は増えている。大きなところでは若潮マラソンなどに観光効果がある。
- ◎ 施設の老朽化の話があったが、第二中学校敷地内の市民体育館の老朽化が激しい。スポーツ少年団の会議の中で外部から人を呼ぶのに恥ずかしいという意見も出ている。
- ◎ 一番心配なのが玄関の雨漏りの漏電。予算が絡むが、危険性もあるので検討してほしい。
- 現地は雨漏りがして床も腐りかけているようなひどい状況である。10年前から雨漏りがあり、その間様々な業者に見てもらったが、原因が不明のため修理できない状況である。
スポーツ課としては3年ほど体育館の耐震改修等の設計予算を出しているが、なかなか実施には至らない。大きな改修と併せて雨漏りの改修も別の視点で取り組めないか検討する。ご迷惑をおかけして申し訳ない。
- 話にあった通り、各課や教育委員会としても予算を計上している。緊急性のあるものを順番に行っている状況である。公民館も外壁のタイルも4年越しの対応となっている。要望として受け付けるが、すぐには対応できないことを承知していただきたい。
- ◎ 城山の博物館入館料が400円では高い、という意見をよく耳にする。他市と比べてどうなのか。
- 無料が原則であるが、費用のすべてをまかなえないため入館料を頂いている。現在は入館料を上げたばかりであり、金額は博物館の設置条例に定められているため、今すぐに下げる判断できない。入館料はある程度の見通しのもとに定められており、ご理解を頂きたい。市民は半額、小中学生は授業の範囲内では減免となり無料となっている。
- ◎ 事前に事務局で委員の質問の取りまとめを行ってほしい。当日の意見が基本だが、事前に質問が分かっていたら数値など回答しやすいのではないか。
- ◎ 図書館の指定管理について社会教育委員に簡単にお知らせしてはどうか。
- 現在、非常勤の方がカウンター業務と移動図書館車業務を行っている。その分を来年の4月から一部業務委託を始められるよう準備を進めている。
- ◎ 図書館サービスに影響は出ないか。
- 特に利用者にとっての内容は変わらない。
- ◎ スポーツ少年団で旧神戸小を使っているが、グラウンドの金網が破れている。管理はどこが行っているか。事故の無いよう、しっかり整備して欲しい。
- 除草等の管理は地元が行っている。金網の件は学校施設の管轄のため、教育総務課へ話をする。
- ◎ 昨年度、市内小中学校へのアンケート調査を行った。
 - ① 家庭教育力が低下している。公民館での家庭教育支援学級などを行っていく。
 - ② 学校支援ボランティアが高齢化しているため、世代交代が求められる。生涯学習課から各学校にチラシを配布した。もっと周知するために、「だん暖たてやま」で随時募集をするのはどうか。
昨年は房南学園を視察した。今年も都合のつく方がいれば、特別支援学校の視察に行きたい。(議長提案)
- 学校支援ボランティアは学校単位で行っているものがある。一例として、西岬小は「地域の花壇」でボランティアと子どもと一緒に花を植えて交流している。子どもたちにとっても地域にとっても良い。

- 教育長の挨拶にもあったが、SNSの問題が危機的な状況。どこの中学校にも大なり小なりある。専門家を呼んで子どもだけではなく、保護者を交えて指導すべきである。ただ、家庭教育学級に来てくださる保護者の方だけではなく、そうではない保護者の方にも指導していかなければならない。
- 参考までに市内小中学校長に「感覚的に携帯電話・スマートフォンを持っている児童・生徒の割合」を聞いた。多いが6校、半々が2校、少ないが6校であった。

以上